

主要3項目すべて改善

ただし引き続き原材料費・仕入価格などコスト上昇の影響大

＜調査機関＞ 北九州商工会議所

＜調査期間＞ 令和4年11月28日～12月23日

〔参考〕調査開始日(11/28)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 28,162 円 83 銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 138 円 93 銭

＜回答数＞ 493 社(製造業 119 社・非製造業 374 社)

＜調査方法＞ 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)

＜概況＞

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

主要3項目すべて改善

次期は主要3項目すべて悪化を予測

◆【業種別】

小売業、運輸業、サービス業は主要3項目すべて改善

次期は卸売業、小売業、運輸業、建設業が主要3項目すべて悪化を予測

◆【規模別】

大規模企業は「売上高」と「経常利益」改善

小規模企業は主要3項目すべて改善

次期は小規模企業が主要3項目すべて悪化を予測

※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

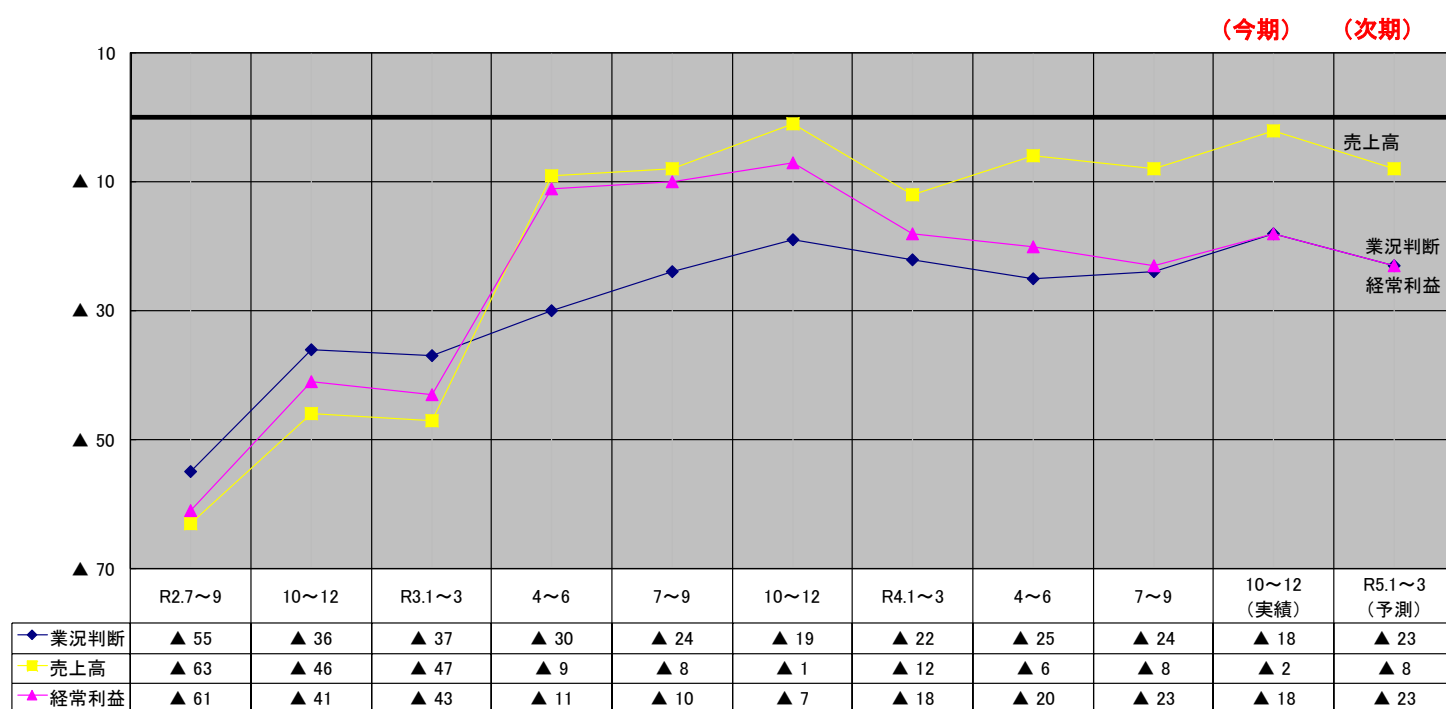
主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

＜今期実績＞（10～12 月期）

・主要3項目すべて改善

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

・次期は主要 3 項目すべて悪化を予測



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
業況判断	▲24	▲18
売上高	▲9	▲2
経常利益	▲25	▲18

業種別

業況判断DI

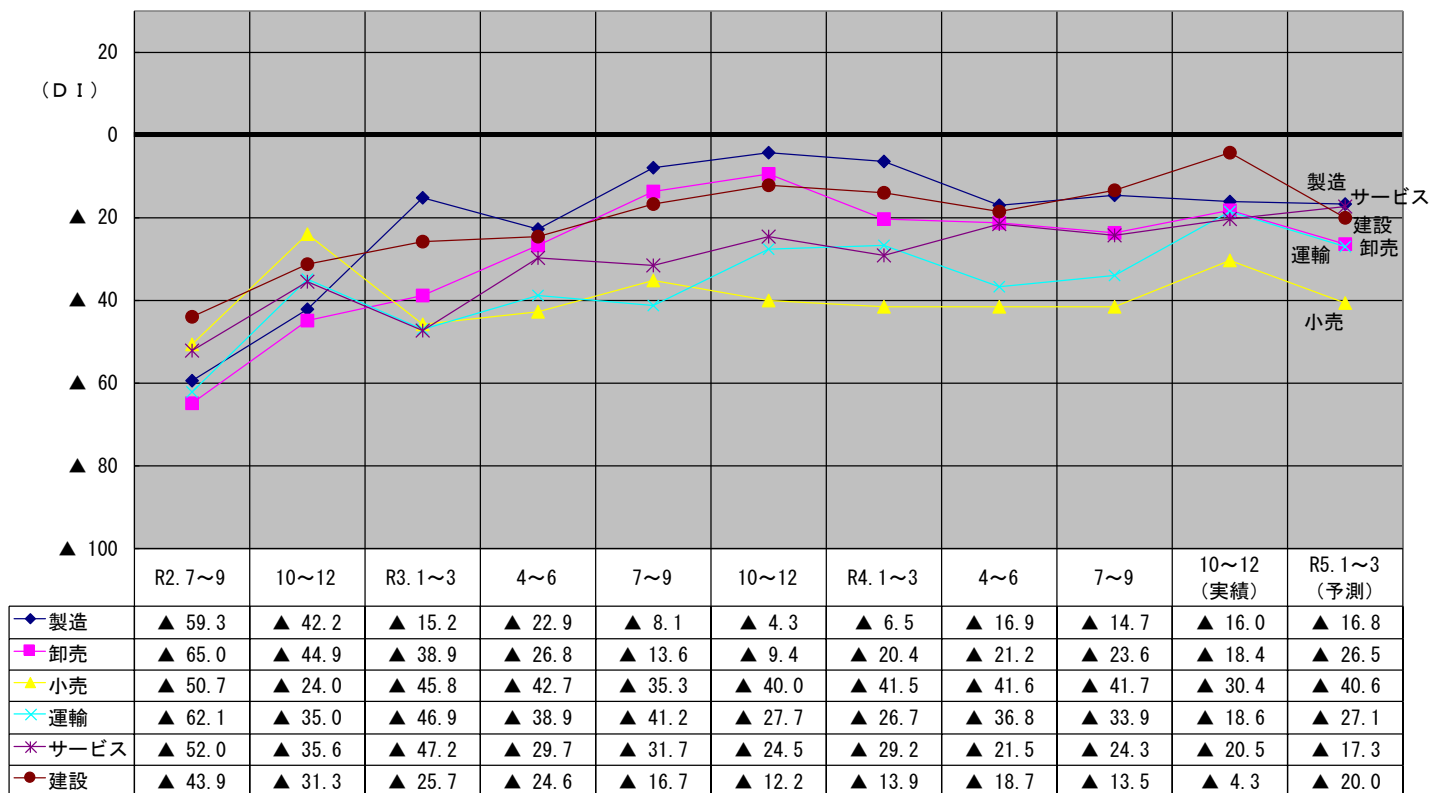
＜今期実績＞（10～12 月期）

- ・製造業以外の業種が改善。特に小売業と運輸業は 10 ポイント以上改善

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

- ・サービス業のみ改善を予測
- ・小売業と建設業は 10 ポイント以上悪化を予測

(今期) (次期)



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
製造	▲11.2	▲16.0
卸売	▲29.1	▲18.4
小売	▲38.9	▲30.4
運輸	▲33.9	▲18.6
サービス	▲27.9	▲20.5
建設	▲13.5	▲4.3

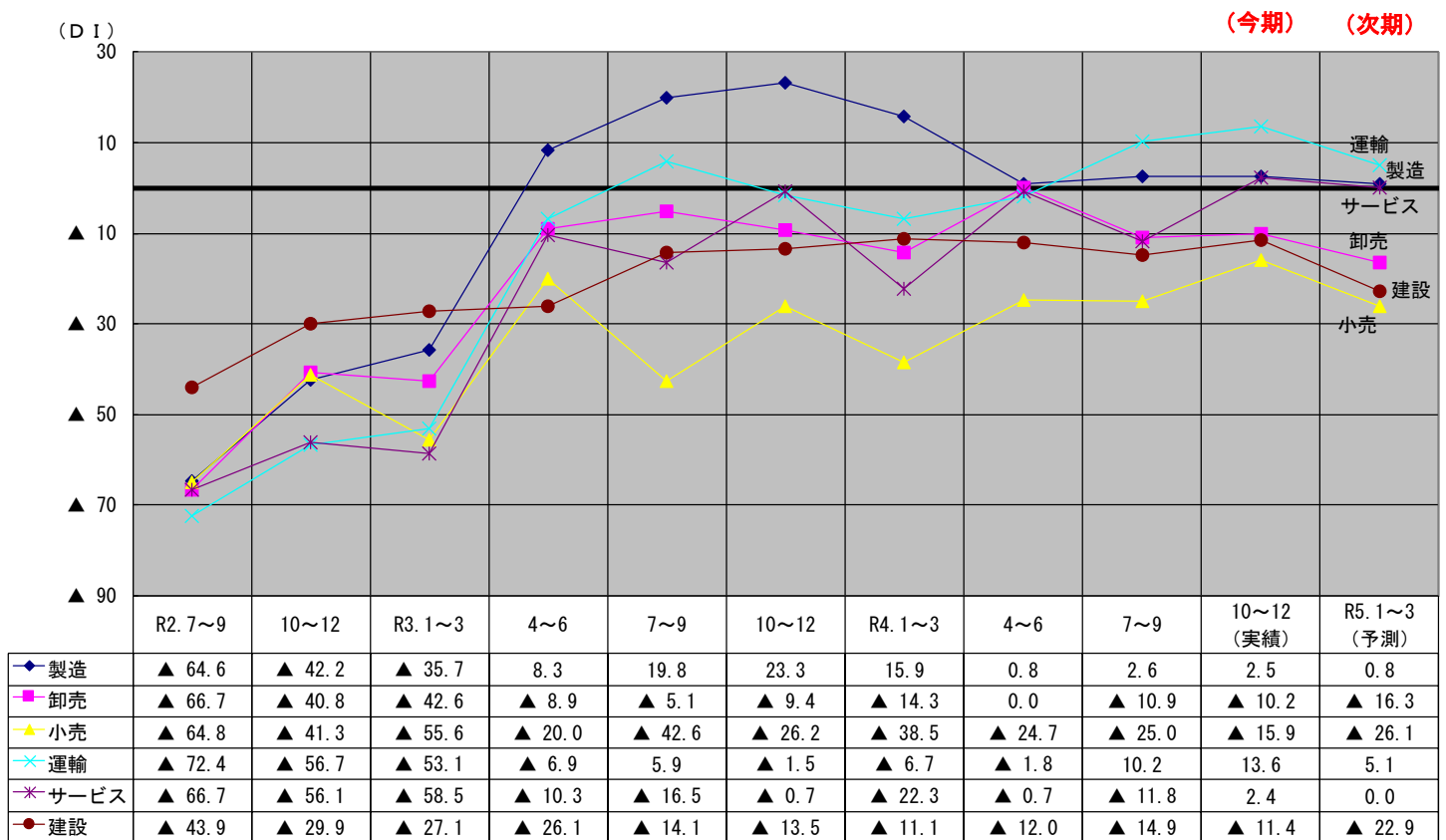
売上高DI

＜今期実績＞（10～12 月期）

- ・製造業と卸売業は横ばい。その他は改善
- ・サービス業は 14.2 ポイント改善で H29 年第 2 四半期以来のプラス水準

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

- ・すべての業種が悪化を予測。特に小売業と建設業は 10 ポイント以上悪化を予測



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
製造	4.3	2.5
卸売	▲25.5	▲10.2
小売	▲20.8	▲15.9
運輸	3.4	13.6
サービス	▲11.8	2.4
建設	▲8.1	▲11.4

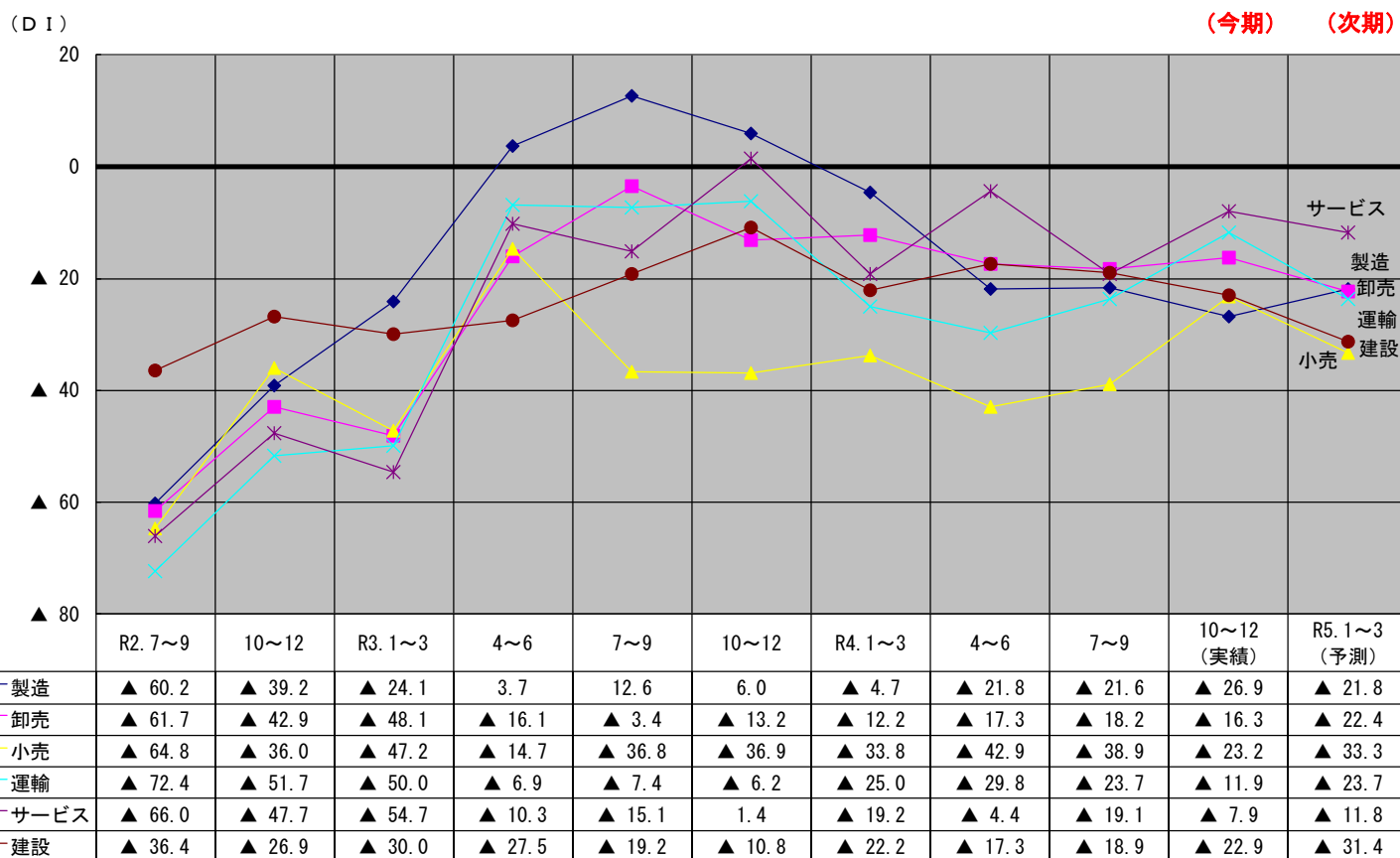
経常利益DI

<今期実績> (10～12 月期)

- ・製造業と建設業は悪化、それ以外の業種は改善
- ・小売業・運輸業・サービス業は 10 ポイント以上改善

<次期予測> (R5.1～3 月期)

- ・製造業のみ改善を予測
- ・卸売業と運輸業は 10 ポイント以上悪化を予測



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
製造	▲22.4	▲26.9
卸売	▲29.1	▲16.3
小売	▲34.7	▲23.2
運輸	▲27.1	▲11.9
サービス	▲25.7	▲7.9
建設	▲12.2	▲22.9

— 規 模 別 —

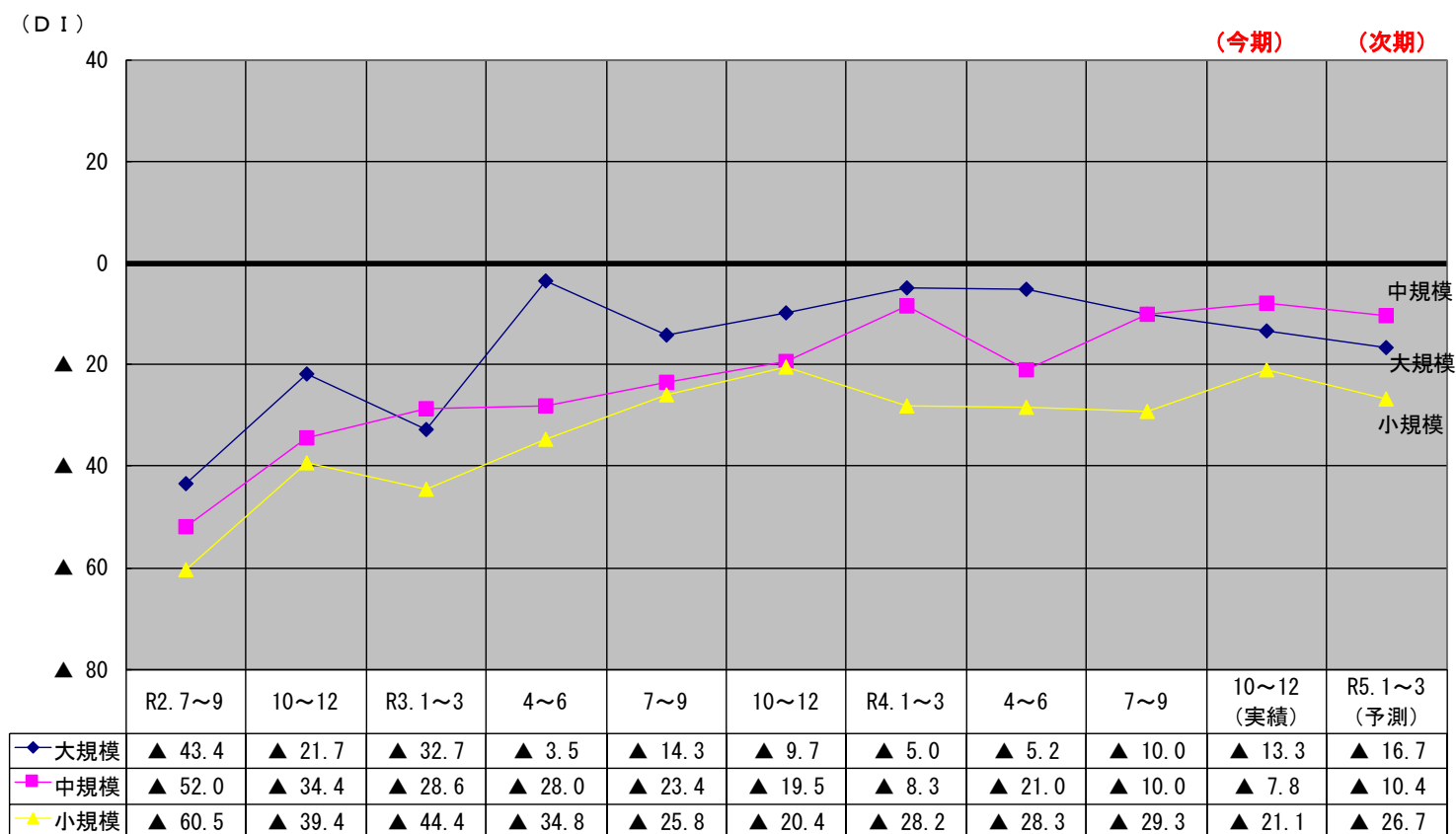
業況判断DI

＜今期実績＞（10～12 月期）

・大規模企業は悪化、中規模企業と小規模企業は改善

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

・すべての規模で悪化を予測



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
大規模	▲13.3	▲13.3
中規模	▲15.0	▲7.8
小規模	▲28.2	▲21.1

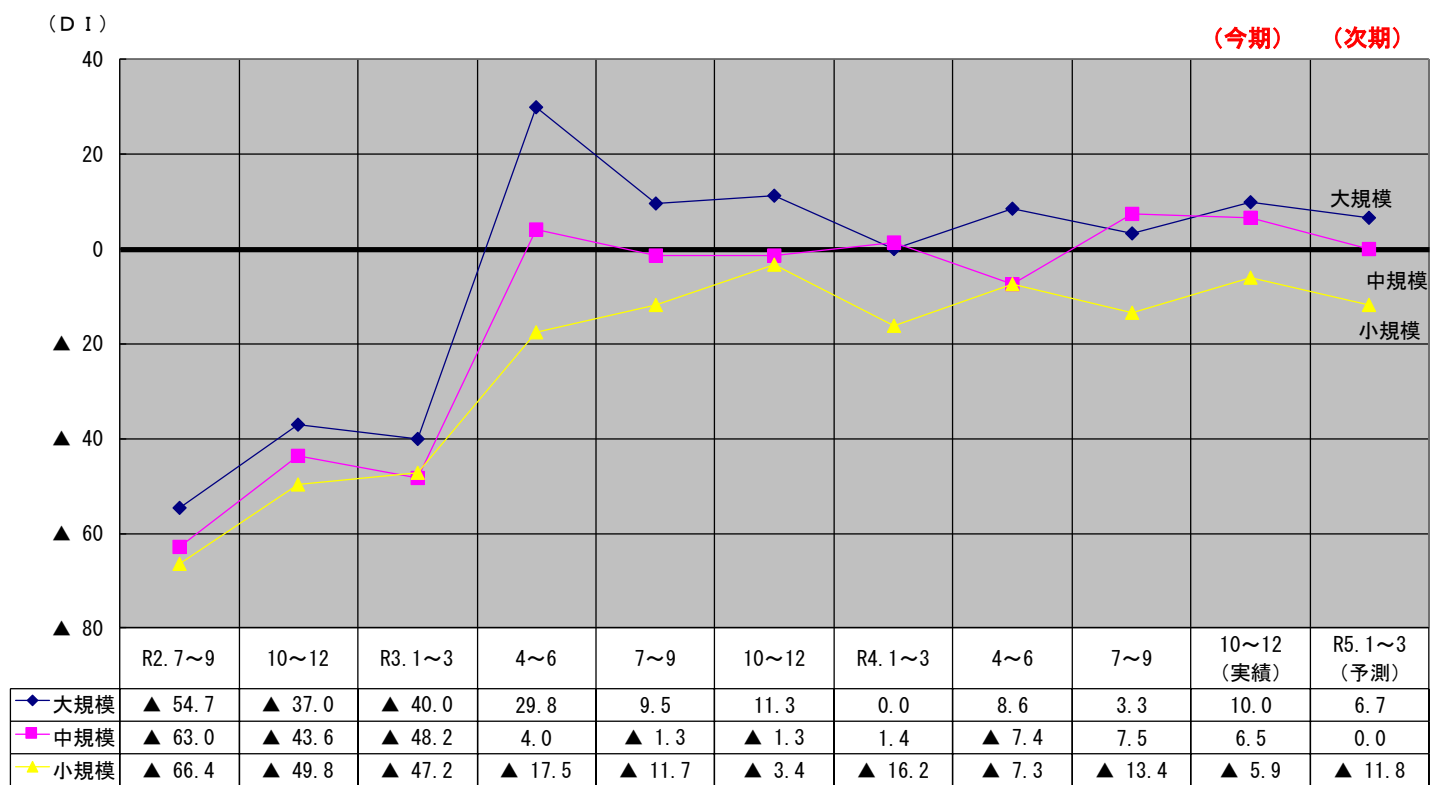
売上高DI

＜今期実績＞（10～12 月期）

・大規模企業と小規模企業は改善

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

・すべての規模で悪化を予測



	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
大規模	10.0	10.0
中規模	▲5.0	6.5
小規模	▲12.4	▲5.9

経常利益DI

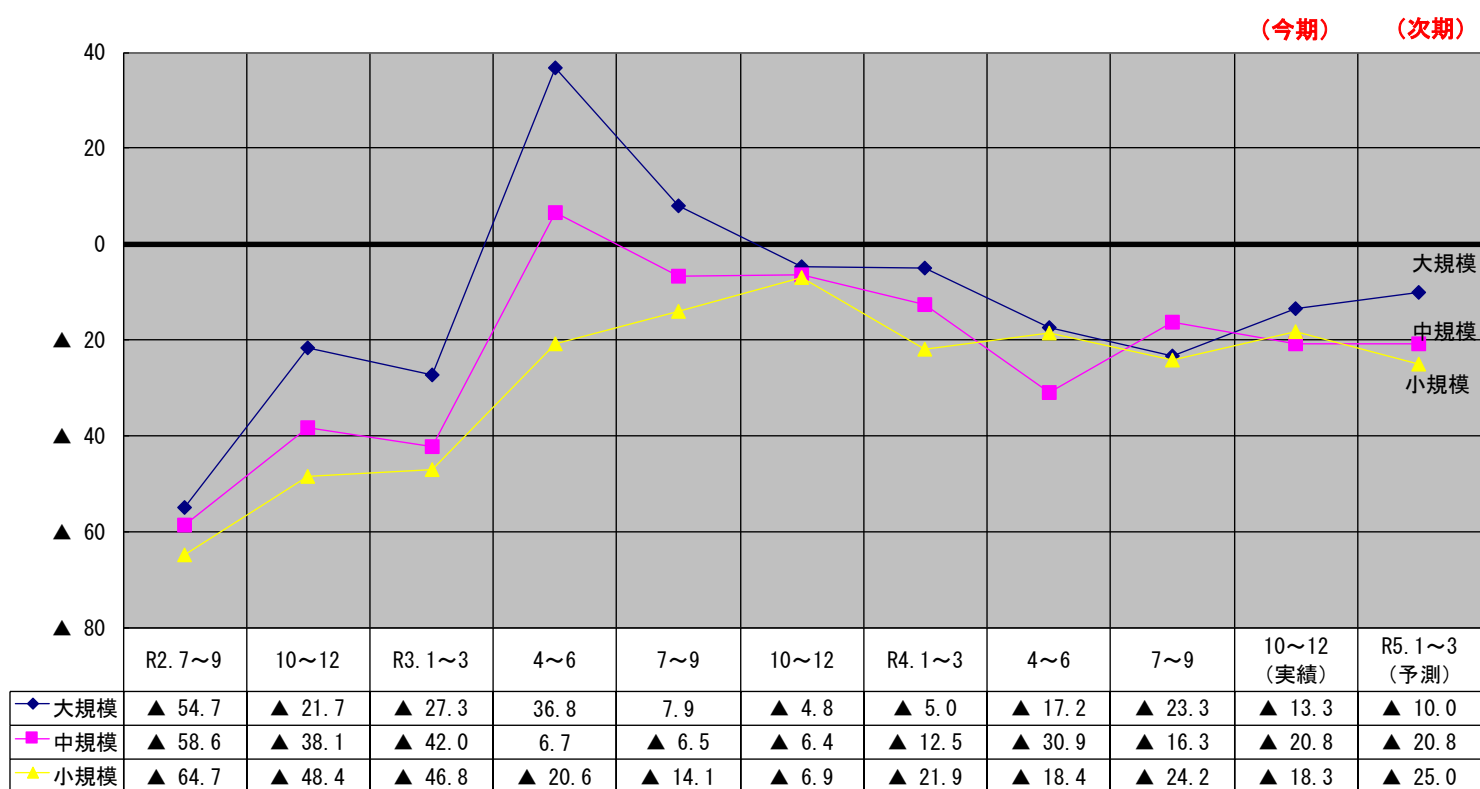
＜今期実績＞（10～12 月期）

・大規模企業と小規模企業は改善、中規模企業は悪化

＜次期予測＞（R5.1～3 月期）

・大規模企業は改善、中規模企業は横ばい、小規模企業は悪化を予測

（D I）



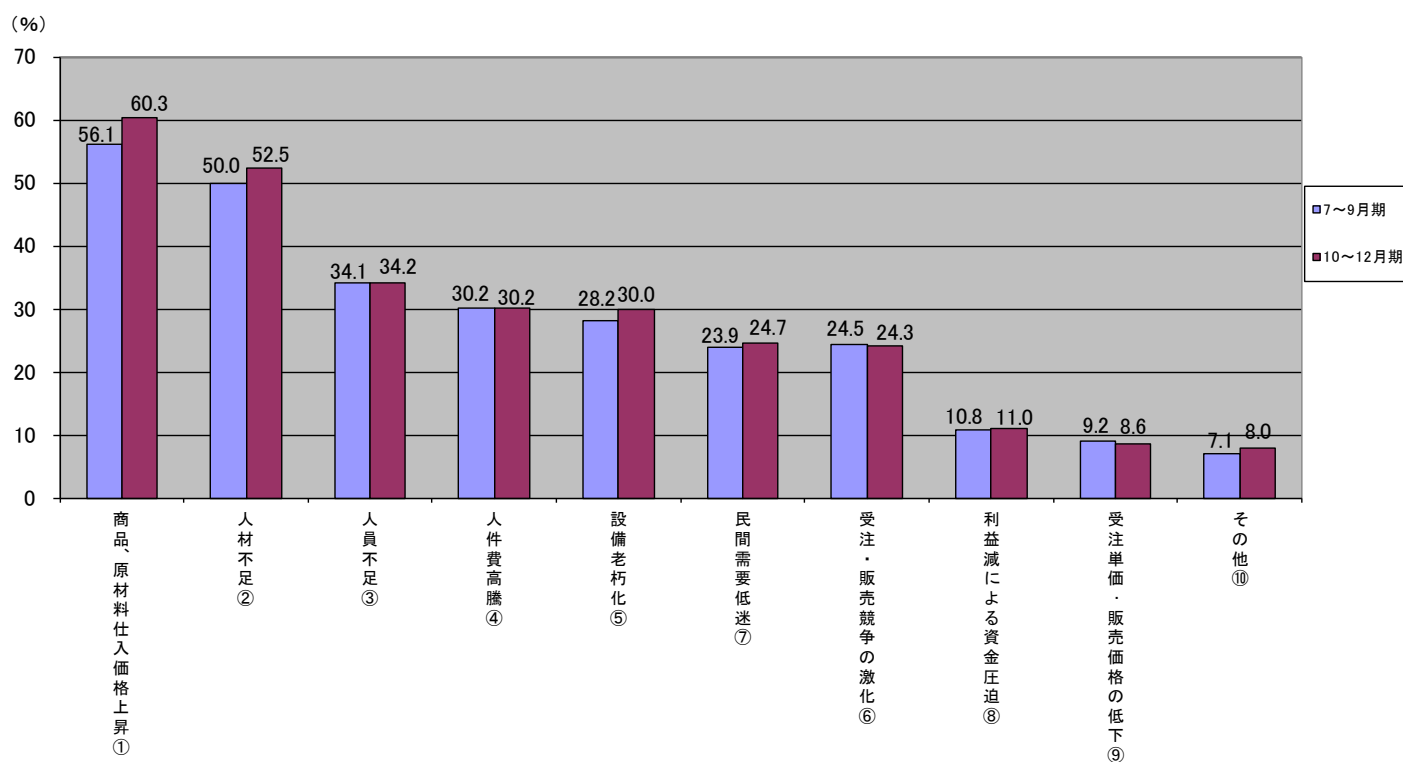
	9 月調査時の 10～12 月期予測	10～12 月期実績
大規模	▲16.7	▲13.3
中規模	▲36.3	▲20.8
小規模	▲23.7	▲18.3

その他項目 DI の動向

	R3 年			R4 年				R5 年
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (実績)	1~3 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「増加」-「減少」)	▲6.1	▲1.9	7.5	6.7	13.5	15.9	22.7	21.3
②資金繰り (「容易」-「困難」)	0.2	3.7	6.3	5.2	7.8	5.6	5.6	2.8
③設備投資 (「増加」-「減少」)	▲16.4	▲12.4	▲3.6	▲13.1	▲0.6	▲2.0	▲2.1	▲5.8
④雇 用 (「過剰」-「不足」)	▲24.3	▲28.6	▲35.7	▲37.8	▲36.3	▲39.4	▲41.2	▲41.8

- ①「販売価格・受注単価」……前期から 6.8 ポイント上昇。次期はやや下降を予測
 ②「資金繰り」……前期と横ばい。次期は悪化を予測
 ③「設備投資」……前期と横ばい。次期は悪化を予測
 ④「雇用」……前期から悪化。次期は横ばいを予測

経営上の問題点上位 10 項目 (複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

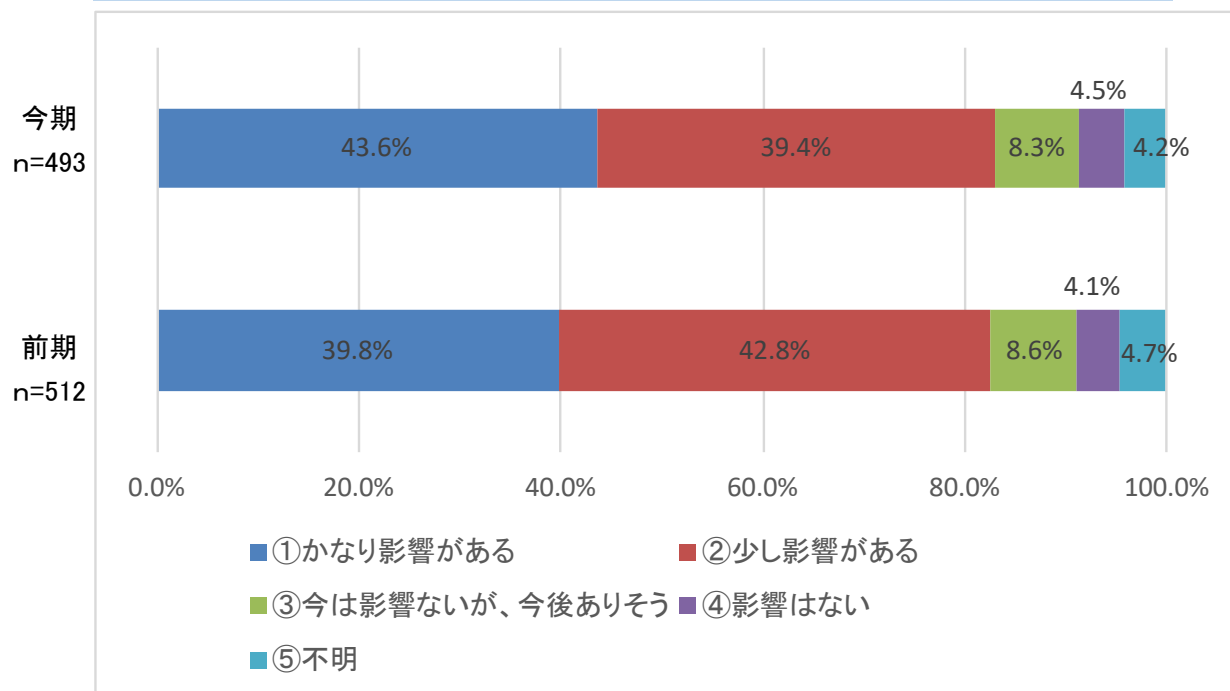
企業の声

- フル生産が継続していた半導体需要は、落ち着いてきた。原材料については、さらなる値上げの要請がきている
【製造業(化学)・中規模】
- 原材料の仕入れ価格が今後も上昇し続けたら、価格転嫁のタイミングも難しくなる
【製造業(建材・木・紙製品)・小規模】
- 昨年は半導体不足やサプライチェーンの混乱による取扱製品の納入遅れがあったが現在は好転しつつある
【卸売業(金属製品・機械機具)・小規模】
- 光熱費や物価の上昇により食費を節約する傾向にあるため青果商品の売行きが悪い状況
【卸売業(青果)・小規模】
- 仕入れ単価が上昇した分については、価格転嫁しているが、電気代、ガソリン代などの上昇分については価格転嫁できていないため、利益減少
【小売業(飲食料品)・小規模】
- コロナによる外出自粛傾向が和らいだのか来店客数は戻りつつあるが、仕入価格上昇により利益が圧迫されている
【小売業(その他の小売業)・小規模】
- 前年・前々年採用を停止していた分、現在急ピッチで採用を進めているが人員不足に陥っている
【運輸業(その他の運輸業)・大規模】
- 物流業界の2024年問題を受け、ドライバー確保のため従業員の賃金を大幅に見直したが、人件費上昇分を運賃に反映できていない
【運輸業(貨物運送)・小規模】
- コロナによる会合の自粛傾向が和らぎ客足は戻りつつあるが、まだコロナ禍前には戻らない。また仕入価格・人件費高騰が利益を圧迫。これからは商品やサービスに付加価値を付けることで販売価格の上昇や利益率の向上を目指していく
【サービス業(飲食業)・小規模】
- 人材不足も問題となっている。中途採用も全然出来ない。このため、新卒の採用に動いている。これで教育費等も含め費用増となる
【サービス業(情報サービス)・小規模】
- 公共工事の入札に参加しているが落札は難しい。原油などの高騰で無駄な部分は削減して事業を行っている
【建設業(その他の建設業)・小規模】

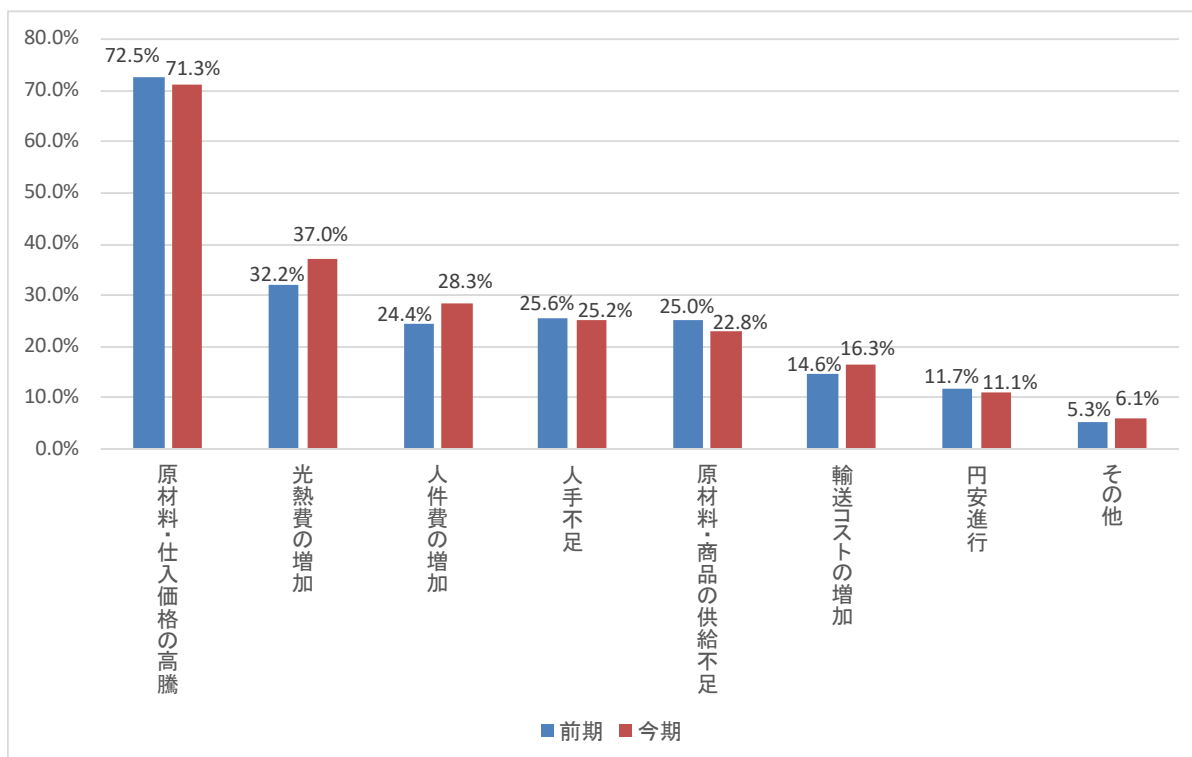
付帯調査

コスト上昇(原油価格・原材料価格の高騰など)の影響調査

(1) 原油価格や原材料価格の高騰などコスト上昇による収益への影響はいかがですか。



(2) 昨年と比較して、収益に大きく影響をおよぼしている要因は何ですか。【大きな要因 3 つまで】



<その他の回答>

- ・コロナ感染による現場工程の遅延
- ・販売数量・取扱数量の減少
- ・官公庁の予算減少(教育関係)

(3)コスト上昇分を価格転嫁できていますか。

